

3 - 7 関東地区高精度トラバース測量結果

Traverse Survey of High Precision in Kanto District

国土地理院測地部

Geodetic Department, Geographical Survey Institute

関東地方南部で実施した高精度トラバース測量結果について報告する。なお、本測量は GDP 計画の一環として始められ、同計画終了後も引き続き実施されてきたが、今回の測量により全作業を終了した。

第 1 表は測定結果である。測定辺の経年距離変化を第 1 図上段に、また関東震災復旧測量（1924～6）以降約 55 年間の変動量を同図下段に示してある。二子山－連光寺村－高根の縮みは、それ以北の高精度トラバース測量結果¹⁾と傾向が一致しており、南関東の南北ないし南東－北西方向の圧縮傾向を示している。毘沙門の鹿野山に対する変動は二子山のそれと異なっており、注目される。

参 考 文 献

- 1) 国土地理院測地部：北海道東部および関東北陸地方の GDP 高精度トラバース測量，連絡会報，9（1973），127 - 131.

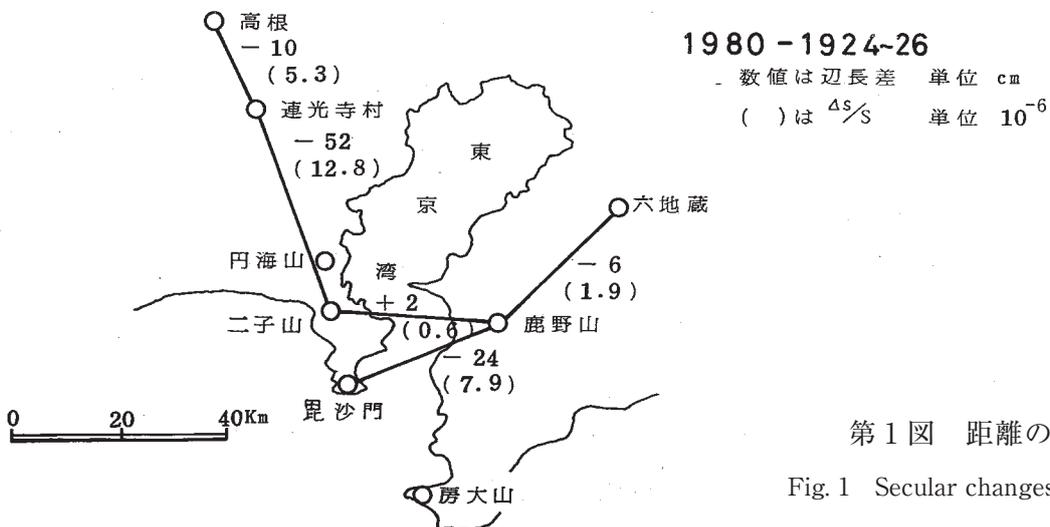
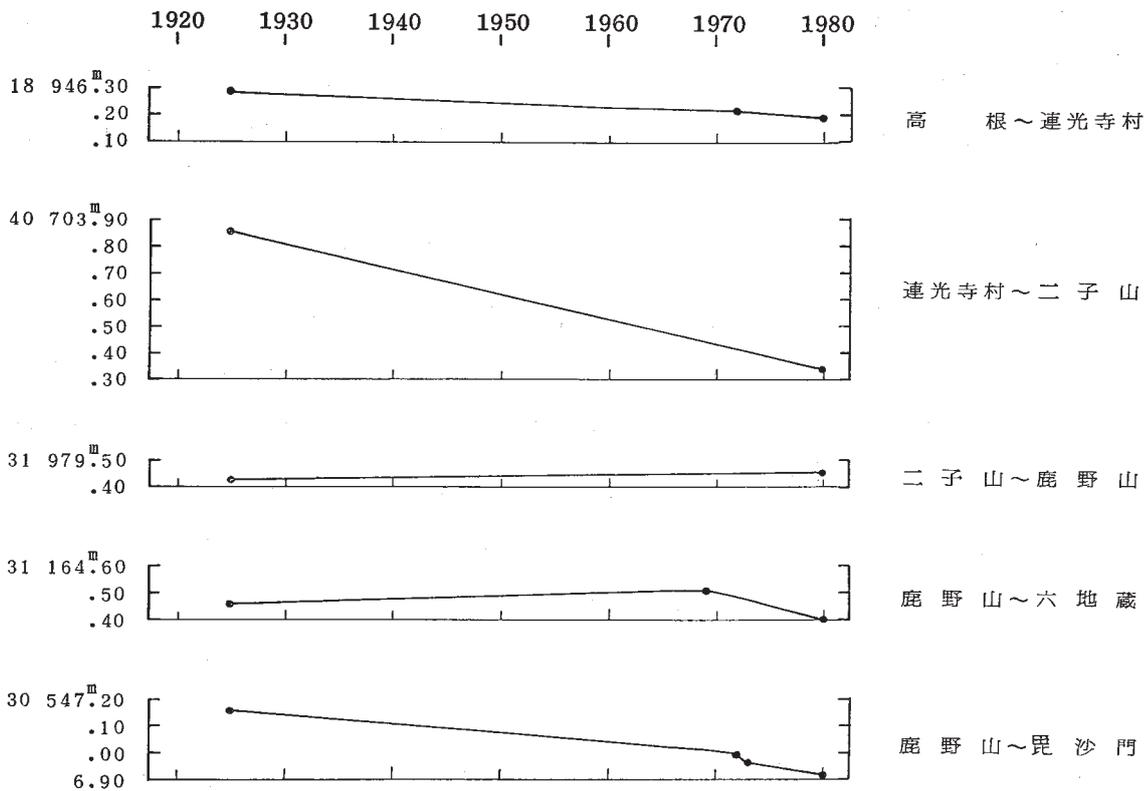
第1表 関東地区高精度トラバース測量結果

Table 1 Results of traverse survey of high precision in Kanto district.

区 間	観測年月									
	I 1924~25	II 1969.2	III 1972	IV 1973.11	V 1980.11	V-I	V-II	V-III	V-IV	
高 根~連光寺村	18 946. ^m 29		6. ^m 22		6. ^m 19	-0. ^m 10		-0. ^m 03		
連光寺村~二子山	40 703.86				3.34	-0.52				
二子山~鹿野山	31 979.43				9.45	+0.02				
鹿野山~六地蔵	31 164.46	4. ^m 51			4.40	-0.06	-0. ^m 11			
〃 ~毘沙門	30 547.16		7.00	6. ^m 97	6.92	-0.24		-0.08	-0. ^m 05	

※ Iは関東震災復旧測量(三角)による改算値。 II~VはG-8型測距儀による測定。

距離の経年変化



第1図 距離の経年変化

Fig. 1 Secular changes of side lengths.